

# 環境未来都市・京都ビジョン

～健康で環境にやさしい「歩くまち・京都」～



# 環境未来都市・京都 ～健康で環境にやさしい「歩くまち・京都」～



防災と環境に配慮した学校施設・設備

適正に手入れされた市街地周辺三山から木材を供給

まちなかに創出された都市農園

ゼロエミッション公共施設エリア

身近に生物相豊かな水と緑

屋上農園で旬野菜を収穫

世界トップレベルの使いやすい公共交通が実現

市民出資型協働発電の普及により自立分散型電源を確保

人と公共交通を優先した道路空間

京町家など伝統的建造物を活用したホテルやカフェ

住民で共有しているEV。自然エネルギーで充電中

通過交通が抑制された街路

京都の食を求めて世界から多くの観光客が来訪

地域で創出した電気を使用した照明

ちょっとした外出はまちかどの  
レンタサイクルを利用

歩く暮らしが定着し、健康増進につながっている

人が主役の都市空間

案内標識等、多言語で情報提供  
する基盤が整っている

どこでもインターネットができる。携帯端末で  
イベント情報、交通情報を1ストップでチェック

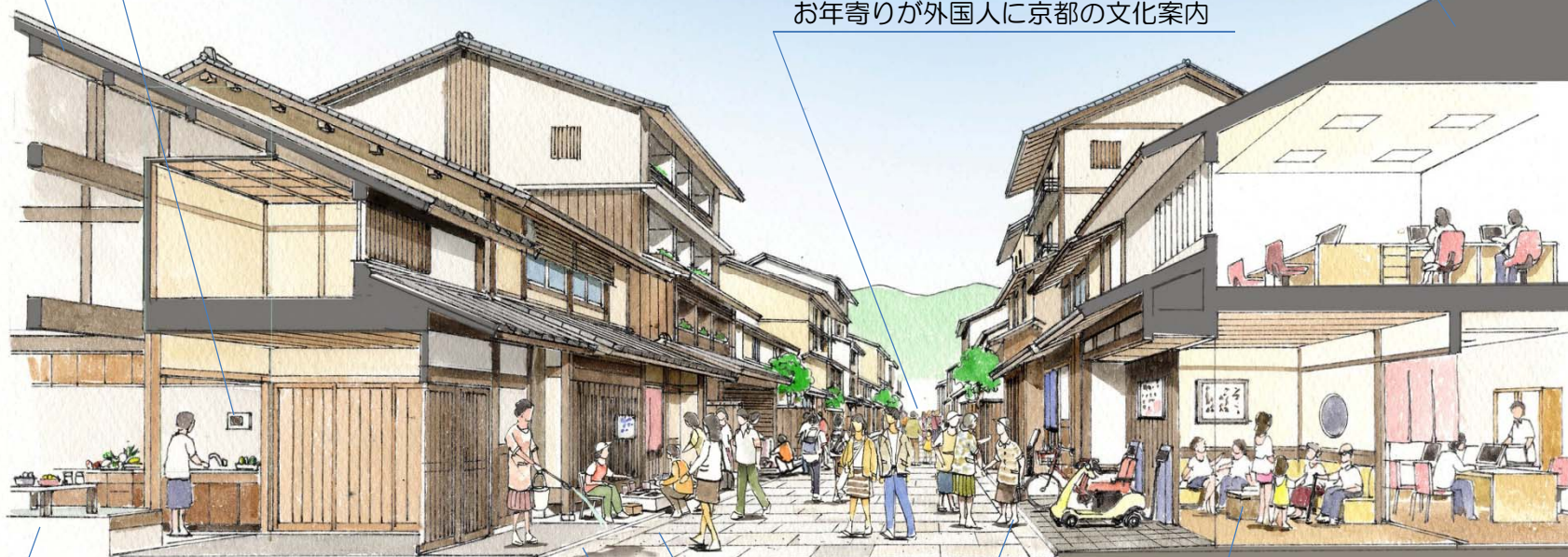
京都で採れた旬の野菜や魚が並んでいる

地域産木材を活用し、京町家の知恵を取り入れた京都型環境配慮住宅が普及

使用中のエネルギーが一目で確認できる  
市民やコミュニティにより省エネの取組が進められている

既存住宅や商店街空き店舗等のストックを活用した地域サービスの拠点

お年寄りが外国人に京都の文化案内

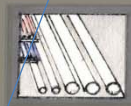


打ち水など、京都の暮らしの知恵が暮らしの中に息づいている

ものをシェアリングし、  
使いきる生活が定着している

食卓には地域産の食材（旬野菜、蜂蜜等）

「エネルギーの井戸端」を  
中心に人の輪ができています



ICTを活用した健康づくり  
等のサービス提供

電気などのエネルギーを地域で融通

# 目指すべき将来像

## 将来の取組課題

- 炭素制約＋エネルギー制約
- 超高齢化による人口制約



- ① 省エネルギー社会の構築
- ② 資源・エネルギー供給の自立性向上
- ③ 被雇用者所得の増大に向けた新たな雇用機会の創出
- ④ 医療、介護需要の低減に向けた健康寿命の延伸

## 京都の強み

### ○まちなか暮らしの知恵

今あるものを大事にして使いまわす暮らし方  
京町家をはじめとする自然を取り込んだ住まい方  
多世代がともに暮らし助け合う強固なコミュニティ

### ○暮らしの身近にある都市ストックと自然

重厚な歴史や文化の蓄積を体感できる多様な都市遺産  
身近なまちかどに息づく伝統の芸能や職人の技  
全国に類のない景観政策  
豊かな自然や農林業が近接するコンパクトな市街地

### ○本質を探究する知の集積

我が国有数の大学や学術機関の集積  
多数の研究者や14万人の大学生による知識創造と高い精神性  
伝統産業と最先端の技術を融合するものづくりの文化

### ○世界とのつながり・ネットワーク

世界から京都に集い、世界に羽ばたく研究者や文化人  
観光都市としての高い知名度と京都議定書という国際ブランド  
世界歴史都市連盟の会長都市、ICLEI世界理事、環境モデル都市

## 2050年の京都

# 「歩くまち・京都」の実現

歩くことを中心としたまちと暮らしにより、  
環境、健康、まちの活力と魅力を高める  
「健康で環境にやさしいまち」を実現

創造し続けるまち

心ゆたかに住まうまち

しなやかな強さを持ったまち

永年蓄積された価値の高い多様な都市ストックを活用し、課題の解決を目指すモデルを提示。技術、スタイル、思想を成功事例として国内外に発信

# 2050年の京都と京都市基本構想・基本計画

## ● 創造し続けるまち

京都の永い歴史のなかで引き継がれてきた多様な都市ストックが、大学や学術機関、企業の最先端の知識や技術と交わることにより、新たな財・サービスだけでなく、地球環境と共生した持続可能な文化や価値観を創造し、市民だけでなく世界の人々を魅了するまちとなっている。

## ● 心ゆたかに住まうまち

年齢や性別に関わりなく、生涯にわたって自然な形で働き、芸術、スポーツに親しみながら、最新の技術による利便性を享受しつつも、豊かな人と人のつながりや自然と調和した町並み、ほんものの文化に囲まれて住まうことによる、精神的な豊かさに満ち足りたまちとなっている。

## ● しなやかな強さを持ったまち

市内だけでなく近隣地域との連携を通じて、食料や資源・エネルギーに関する都市の自立性が向上するとともに、永年培われた自治の伝統のもと、地域コミュニティや市民の活動による絆により、予見することが難しいような自然災害や社会経済環境の変化に対しても、市民がともに支え合い、困難を克服することのできるしなやかなまちとなっている。

健康で環境にやさしい「歩くまち・京都」

### 京都市基本構想(2000年)

～2025年に向けた京都市のグランドビジョン～

#### I 安らぎのある暮らし

- ①すべてのひとがいきいきとくらせるまち
- ②ひとりひとりが支え、支えられるまち
- ③だれもが安心してくらせるまち

#### II 華やぎのあるまち

- ①活力あふれるまち
- ②魅力あふれるまち

### 京都市基本計画(2011年)

～2020年の京都の未来像～

- ①環境共生と低炭素のまち
- ②日本の心が感じられる国際都市
- ③環境と社会に貢献する産業を育てるまち
- ④学びのまち
- ⑤支え合い自治が息づくまち
- ⑥真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち

### 「歩くまち・京都」憲章(2010年)

わたしたちの京都では、市民一人ひとりとは、

- 1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

- 1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、賑わいあるまちを創ります。
- 1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。

# 2050年京都のビジョン

## 健康で環境にやさしい「歩くまち・京都」

創造し  
続ける

心ゆたかに  
住まう

しなやかな  
強さ

### 課題・目標 ＜評価指標※＞

#### 低炭素・省エネルギー

＜歩くまち, 環境, 農林業＞

#### 地域の介護・福祉（健康寿命延伸）

＜高齢者福祉, 市民生活とコミュニティ＞

#### 観光振興

＜観光＞

### 取組内容 ＜当面5年以内の取組＞

①歩いて楽しいまちづくり

②エネルギー地産地消都市づくり

③木の文化が育む低炭素都市づくり

④地域で支える健康都市づくり

⑤日本文化の神髄に触れる観光都市づくり

※評価指標は、京都市基本計画～はばたけ未来へ！  
京プラン～の政策体系をベースとした政策評価制度  
の評価項目を準用

# ① 歩いて楽しいまちづくり

持続可能な脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指して、世界トップレベルの使いやすい公共交通を構築し、歩く魅力にあふれるまちをつくり、また一人ひとりが歩く暮らし（ライフスタイル）を大切にすることによって、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現する。



LRT導入イメージ



人が主役のまち（御池通）



ロードプライシング導入イメージ

## 取組内容

### 「歩くまち・京都」実現のための新たな取組

- ・自動車流入抑制のためのロードプライシング導入に向けた社会実験の実施
- ・環境にやさしく京都のまちのシンボルとなるLRT・BRTの導入計画の策定
- ・「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）による公共交通の情報発信
- ・都心細街路における安全でゆとりのある歩行空間の創出（「歩くまち・京都」ゾーン（仮称））
- ・歩いてこそ京都・自転車プロジェクト
- ・物流のモーダルシフトとEV化

### 「歩くまち・京都」総合交通戦略の着実な推進

- ・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発
- ・都心主要道路における歩道拡幅（四条通，東大路通）
- ・観光地交通対策，パークアンドライドの通年実施
- ・「スローライフ京都」大作戦（モビリティ・マネジメントの推進）
- ・公共交通利用促進策を実施する建築物に対する駐車場付置義務台数の引き下げ
- ・マンション等共同住宅でのカーシェアリングの普及促進

## 創造される価値

### <環境価値>

- ・自動車利用の抑制による低炭素化

### <社会的価値>

- ・歩くことによる市民の健康寿命の延伸

### <経済的価値>

- ・歩行者優先のまちづくりによる賑わい創出や観光地としての魅力向上





## ② エネルギー地産地消都市づくり

自然や文化、建築物などの蓄積された都市ストックと強固な地域力を生かしながら、最先端の省エネ、創エネ、蓄エネ技術の大量導入やモーダルシフト、防災まちづくりの推進により、街区内におけるエネルギーの創出と分散化によるエネルギーマネジメントと歩行者中心の安心安全なまちを実現する。

### 地域安定エネルギー供給拠点としての役割



### 最先端のスマートコミュニティの広大なショーケース



<岡崎地域>

### 取組内容

#### 省エネ・創エネ・蓄エネ技術の導入による分散型エネルギーマネジメント

- ・エネルギーの共同利用施設によりコミュニティ活性化をもたらす「次世代エネルギーの井戸端」づくり
- ・公共施設等を拠点とする市民出資型協働発電の推進、自立分散型電源の確保
- ・岡崎地域に集積する公共施設等のエネルギーの見える化、省エネ運用(BAS/BEMSの導入)、太陽光発電、コージェネレーションシステム、ヒートポンプ等の導入、エリア内のエネルギーマネジメント
- ・糞尿・食品残渣から回収したバイオガスなど自然エネルギーを活用した「グリーンZOO」
- ・特定建築物への再生可能エネルギー利用設備の設置義務化
- ・駐車場、店舗等における充電設備の設置推進

#### グリーン・イノベーションの推進

- ・産学公連携による研究開発拠点の整備と環境エネルギー分野の革新に資する研究開発の推進
- ・都市油田・都市鉱山発掘事業

#### 歩行者中心のゼロエミッションパーク

- ・化石燃料車の流入抑制
- ・観光地EVカーシェアリングの推進とEVバス運行
- ・ICTを活用した小型電動モビリティ、レンタサイクルの導入

#### 地域力を生かしたライフスタイルの転換

- ・エコ学区など環境にやさしいライフスタイルを実践するエコ・コミュニティの形成
- ・朝型生活への転換を推奨する「京朝(きょうあさ)スタイル」の推進
- ・DO YOU KYOTO? クレジットの創出

#### 防災まちづくり

- ・木造密集市街地や細街路における地域のまちづくりの取組と連携した防災まちづくりの推進
- ・防災と環境に配慮した学校施設・設備の整備

### 創造される価値

#### <環境価値>

- ・再生可能エネルギーの導入とエネルギーマネジメントによる低炭素化

#### <社会的価値>

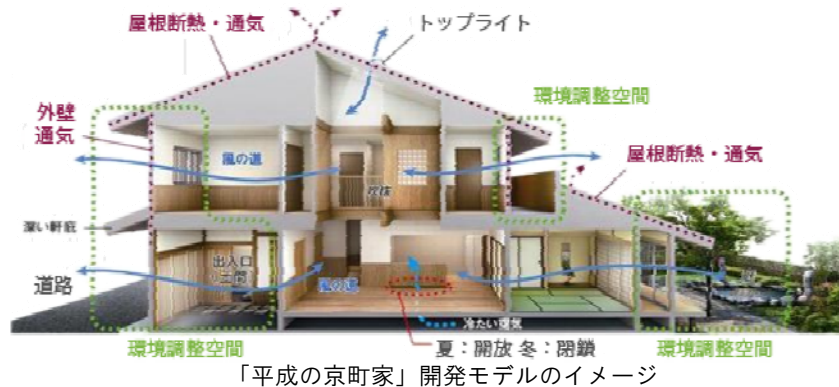
- ・分散型エネルギーの確保や地域の絆を生かした災害対応力の向上
- ・若年世帯の流入による多世代居住の促進と地域コミュニティの活性化

#### <経済的価値>

- ・省エネ、創エネ、蓄エネ技術導入による産業の振興
- ・文化・交流ゾーン「京都 岡崎」地域のブランド構築と魅力向上

### ③ 木の文化が育む低炭素都市づくり

森林の保全と建築用材をはじめとする地域産木材の多様な活用による市内での需要供給サイクルを構築するとともに、農の営みやまちなかで生物を育む取組を通じて、自然の恵みが日々の生活の中に生かされている社会を目指す。



鴨川へ遡上してきたアユ



ビル屋上の花壇にやってきたミツバチ



都市農園のイメージ

#### 取組内容

##### 森と木のまち京都の創造

- ・木材ストック情報システムの整備
- ・市街地周辺三山における森林の保全整備
- ・木質ペレットの利用, 路面材や道路付属物への活用促進
- ・特定建築物に係る地域産木材の利用義務化
- ・CASBEE京都による地域産木材を利用した建築物の評価
- ・「平成の京町家」の普及促進
- ・京町家などの伝統的な木造建築物の保存活用に関する条例の制定
- ・景観政策の推進

##### 農力開発

- ・都市農園制度の創設や農地等を利用した環境保全・防災機能の向上
- ・人材育成・6次産業化支援・情報発信のための拠点の設置
- ・就農希望者や市民の農力育成と農育・花育の推進
- ・待ち食キャンペーンや歩いて訪ねる京野菜観光の推進
- ・五感で感じる農・流通・食の拠点整備

##### 自然の恵みの育成・活用

- ・京都みつばちガーデン事業
- ・鴨川の天然アユ復活事業

#### 創造される価値

##### <環境価値>

- ・森林の活力や自然景観の保全・再生, 温室効果ガス排出削減・吸収源確保
- ・町並み景観の保全・再生
- ・緑や水環境によるヒートアイランド現象の緩和

##### <社会的価値>

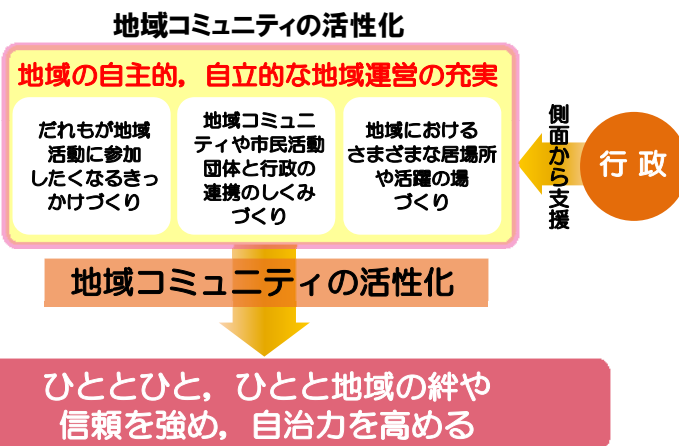
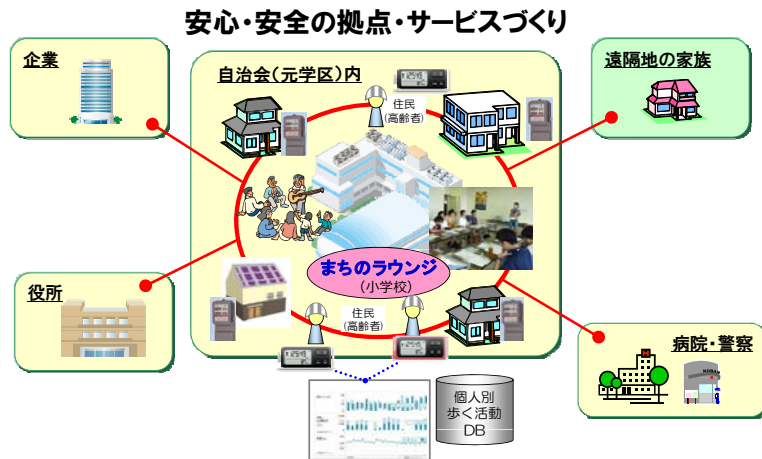
- ・農作業を通じた健康の保持増進(高齢者の生きがいづくり)
- ・農作業を通じた地域のつながり強化

##### <経済的価値>

- ・林業振興や農業の担い手育成による雇用創出
- ・伝統工法による技能・技術者の育成・継承
- ・地域産の農作物や天然の食物を活用した特産物やブランド商品の開発

## ④ 地域で支える健康都市づくり

地域の拠点を中心にICTを活用した生活支援・ケアサービスを構築し、最先端の医療環境や地域コミュニティの活性化の取組による強固な自治力を生かしながら、生涯にわたって健康で生活しやすい環境づくりを進める。地域のサービスを提供する組織の活動を通じ、地域における雇用機会を創出する。



### 取組内容

#### 地域における生活支援・ケアサービスの提供と健康づくり

- ・商店街、市営住宅ストックを活用した地域コミュニティに資する活動の場の設置への支援
- ・NPO法人や民間事業者等の運営主体創出、地域住民の参画による就労創出
- ・ICTを活用した見守り、買物支援、省エネ、健康づくり活動サービスの実施
- ・「地域包括ケアシステム」の基盤整備
- ・ウォーキングや京都マラソンなどスポーツイベントの開催

#### 臨床研究・治験環境の整備(※)

- ・医薬品、医療機器、先端医療技術等における研究、開発から実用化への支援環境の整備

#### 地域コミュニティ活性化推進条例に基づく取組

- ・地域コミュニティサポートセンターの設置
- ・地域コミュニティ活性化支援助成制度(仮称)の創設
- ・町内会・自治会等の活動状況等に関するデータベースの作成

※国際戦略総合特区申請内容

### 創造される価値

#### <環境価値>

- ・ICTを活用したエコ行動や環境教育を通じた低炭素化

#### <社会的価値>

- ・生活支援・ケアサービスや、最先端医療による市民の健康寿命の延伸
- ・コミュニティの課題解決力向上
- ・地域の絆の強化

#### <経済的価値>

- ・運営主体の創出による新しい公共の担い手育成
- ・住民参画を通じた地域における雇用機会の創出
- ・医薬・医療技術、医療機器等の研究開発促進による国際競争力の強化、企業集積の促進

## ⑤ 日本文化の神髄に触れる観光都市づくり

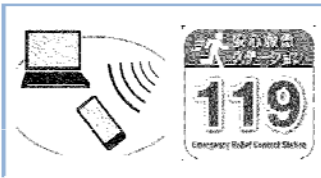
世界の人々が日本文化の神髄を求めて集う国際観光拠点の形成や、世界の芸術家や文化人が自由に集い、学び、はばたく文化自由都市の創造を進めるとともに、国内外の人々が旅の本質を思う存分堪能できる観光都市としての基盤づくりを進める。



改修により簡易宿所として利用されている京町家



日本料理店で修業する外国人シェフ



### 取組内容

#### 国際観光拠点の形成(※)

- ・京町家をはじめとする文化的資産を保全・継承するための制度創設等
- ・京町家旅館等の整備促進
- ・文化的資産の活用や環境をテーマとしたMICE(\*)推進
- ・市内免税店等の普及促進

(\*)企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称

#### 国際的な文化芸術創造拠点の形成(※)

- ・ほんものの文化・芸術を学ぶ場の提供
- ・本格的な京料理の世界への発信
- ・海外からの映画撮影誘致やコンテンツ分野での人材交流促進

#### 京都ならではの観光を支える基盤づくり

- ・京都どこでもインターネット・安心救急ステーションの整備
- ・多言語対応コールセンターの開設
- ・携帯GPS機能を活用した観光・交通案内情報の発信
- ・歩いてこそ京都・自転車プロジェクト(再掲)
- ・多言語観光案内標識のアップグレード

※地域活性化総合特区申請内容

### 創造される価値

#### <環境価値>

- ・歩いて楽しむことをはじめとする環境にやさしい観光スタイルによる低炭素化

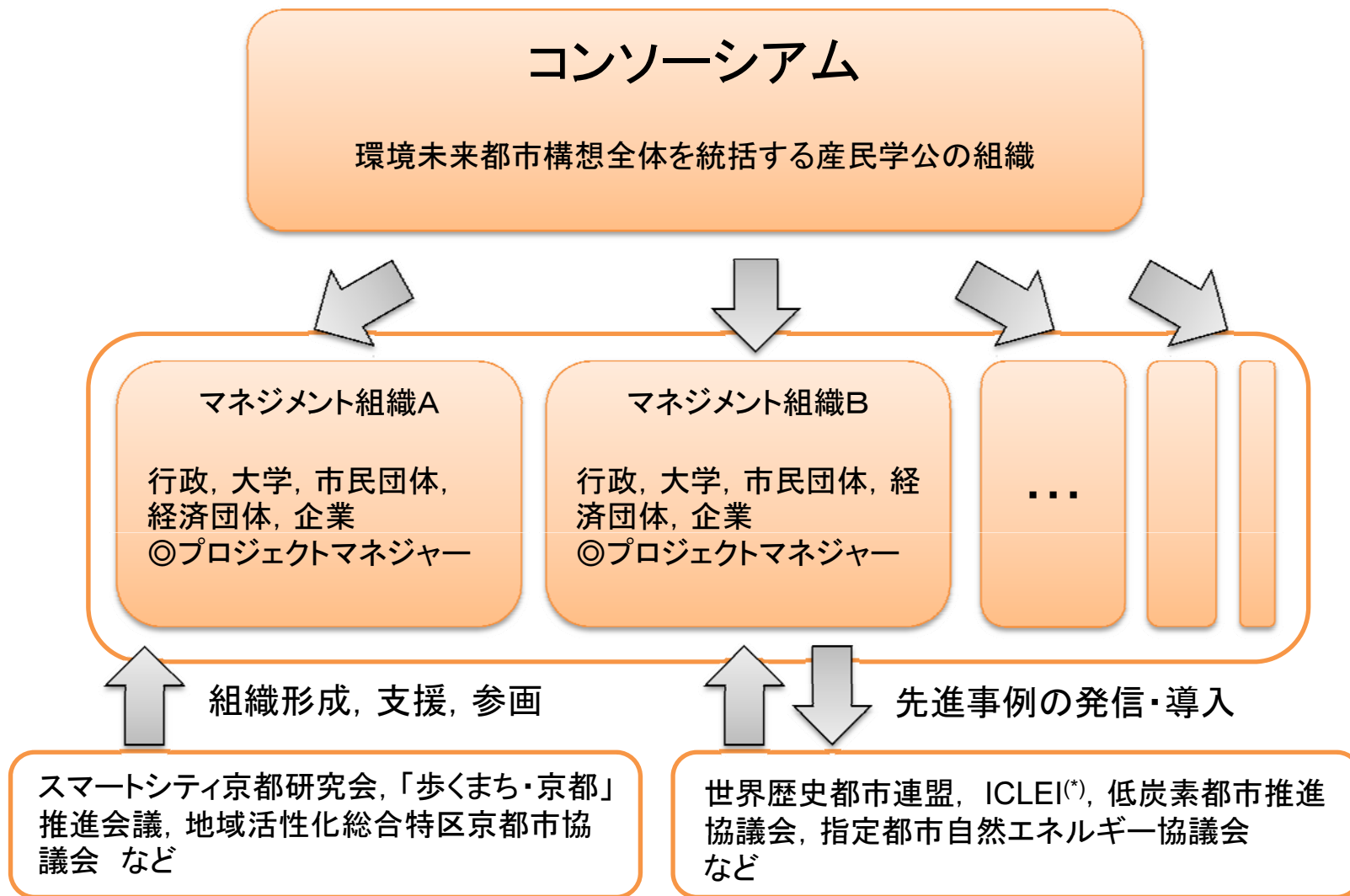
#### <社会的価値>

- ・快適な受入環境の整備による、国籍、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、すべての観光客や市民の安心安全な観光や生活の質の向上

#### <経済的価値>

- ・質の高い観光スタイルの定着による新たなブランド構築

# 体制



(\*) 持続可能性を目指す自治体協議会